

「一般社団法人横浜みなとみらい21」は、「株式会社ジェイコムイースト横浜テレビ局」と「災害時における放送等に関する協定」を締結します。

みなとみらい21地区では、東日本大震災以降、防災対策の重要性が高まっていることを踏まえ、186haにわたる我が国最大級の地域を対象としたエリアマネジメントを推進しているという特徴を活かして、『災害への備え、協力などソフト面を含めた安全・安心な街の実現』を目指し、防災対策を本格的に推進しています。

この度、みなとみらい21地区の災害時情報拠点となる「一般社団法人横浜みなとみらい21（YMM）」が、地区内外に的確に情報発信を行うため、「株式会社ジェイコムイースト横浜テレビ局（J：COM横浜）」と協定を締結します。

◆今回の協定の特徴・意義

- ① YMMは、発災時に地区内の企業・団体等と行政機関等を連絡する災害時情報拠点の役割を担います。この際、一般固定電話回線、携帯電話回線が輻輳することが想定され、地区内の情報を伝えるため、複数の情報伝達手段を確保する必要があります。この観点からケーブルテレビを運営する報道機関との協定を締結し、発災時にケーブルテレビを使って地区内及び周辺地区へ的確に地区内情報を伝達することが可能となります。
- ② 今回協定を締結するケーブルテレビ事業者は国内の多くの自治体との協定締結の実績はありますが、**民間団体との締結は全国初**となります。

◆協定の概要

- ① YMMの役割：J：COM横浜への災害情報等の提供及び放送の要請
- ② J：COM横浜の役割：YMMからの要請に基づく災害情報等の放送等

◆協定締結式

以下の通り協定締結式を行います。

- ① 日時：平成27年3月30日（月）10:30～11:00
- ② 場所：一般社団法人横浜みなとみらい21会議室
（横浜市西区みなとみらい2丁目3番5号
クイーンズスクエア横浜 クイーンモール3階）

③ 締結者：

株式会社ジェイコムイースト	横浜テレビ局	局長	野中範郎様
一般社団法人横浜みなとみらい21		理事長	友田勝己

◆取材について

協定締結式を取材していただける場合は、当日10:20までに一般社団法人横浜みなとみらい21会議室へお越し下さい。

◆これまでの取組

- ①合同防災訓練を、阪神・淡路大震災の発生を踏まえ、平成7年度から毎年度実施中。
- ②防災情報の提供として、「大地震への備え」や「防災・減災への備え」、「防災ガイドマップ」を作成し、ホームページに掲載中。



■合同防災訓練（平成27年3月）

■みなとみらい21地区



◆「みなとみらい21地区」について

みなとみらい21地区は『横浜の先端都市』でありながら、「海」、「港」、「広々とした空」があるオープンな空間であり、心地よい時間を過ごすことができる都市です。子どもから大人まで。遊び、ショッピング、デート、仕事、知的興味、観光…といった様々な目的を持った方の期待に応えられるような魅力ある街づくりを目指しています。

◆「一般社団法人 横浜みなとみらい21」について

みなとみらい21地区内の土地・建物所有者、施設管理運営者等により構成され、みなとみらい21地区の魅力を高め、質の高い都市環境の維持・向上を図るため、街づくりや環境対策、文化・プロモーション活動などを通じて、みなとみらい21地区全体のエリアマネジメントを行っています。

■理事長：友田 勝己

■所在地：神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-5 クイーンズスクエア横浜 クイーンモール3F

■横浜みなとみらい21公式ウェブサイト：<http://www.minatomirai21.com>

エリアマネジメント憲章

[基本理念]

多様な活動が共存し豊かな都市文化を醸成する

多様な活動が共存しお互いに影響し合うことで、みなとみらい21ならではの豊かな都市文化を育み、内外の人々がそれを享受できる街を目指します。

安全で高質な心地よい都市環境を形成する

世界に誇りうる端正で風格を持った都市景観、その場に身を置くことで愉しさと心地良さを感じることができる都市の環境の形成を目指します。

「みなとみらい21」のブランドを育成・確立・発信する

この街に係わる様々な立場の人々が街に愛着を持ち、誇りを感じるような地区のブランドを形成し、広く世界へ発信します。

お問い合わせ先

一般社団法人横浜みなとみらい21 企画調整部企画調整課長 浜谷 英一 電話045-682-4404